

調達先との関わり

企業に求められる社会的責任を果たすためにはサプライチェーン全体で技術や製品・サービスに対する方向性や認識を共有し、一丸となって取り組むことが不可欠です。調達先と常に公平・公正な関係を保ち、ともに成長・発展できる良きパートナーとして信頼関係の構築・強化に努めていきます。



協力会社との良好な関係

当社にとって、協力会社は安全・安心な職場づくりと無事故・無災害を目指すための不可欠なパートナーです。技術や製品・サービスに対する方向性や認識を共有し、サプライチェーン全体で企業に求められる社会的責任を果たしていきます。

協力会社への社長表彰

毎年、各支店では協力会社への表彰を行っています。特に多大な貢献があった協力会社には、社長表彰をしています。2020年度は有限会社横島建設(千葉県)、株式会社ワイズテック(北海道)、株式会社YOTSUBA(香川県)の3社の代表者に当社社長が謝辞を述べ、感謝状と記念品を贈呈しました。

当社はこれからも協力会社の皆様とともに社会基盤の整備に寄与してまいります。

「優良職長認定制度」の新設

協力会社との信頼関係を構築し、ともに成長しながらさらなる施工品質と安全衛生管理を向上させることを目的に、2020年11月、「優良職長認定制度」および「優良職長報奨金制度」を新設しました。

当社の工事に従事している職長のうち、高い現場マネジメント能力を発揮して工事を円滑に遂行し、生産性向上や品質・安全の確保に高いレベルで寄与した職長に対し、「優良職長」として認定もしくは報奨金を授与する制度です。

2021年度は14名を優良職長に認定し、1名に報奨金を授与しました。

VOICE

優良職長認定を受けて

常に無事故・無災害を意識した現場管理を徹底してきましたので、この度の優良職長への認定は長年の積み重ねを評価していただいたものにとらえており、大変誇らしく、喜ばしい気持ちであると同時に、改めて身の引き締まる思いです。

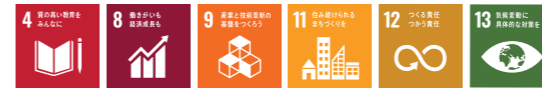
現場では、大林道路だけでなく複数の協力会社とのコミュニケーションも必要です。今後も優良職長の名に恥じぬよう、自ら率先垂範した行動をとることで、社会インフラを整備するパートナーとして、互いに安全・安心かつ高品質な施工の実現に努めていきます。同時に全従業員、特に若い世代の育成にも尽力していきたいと考えています。

有限会社 本多組 本田 祥司 様



地域社会との関わり

道路をはじめとする重要な社会インフラを利用する人々の安全・安心・快適性を守ることも私たちの使命です。企業理念に基づき、経営資源を最大限に活かして事業活動を展開するのはもちろん、良き企業市民として、事業を超えた活動を通して地域の人々と積極的に交流を図り、社会と文化の発展に寄与していきます。



「がん研究会」支援自動販売機の設置

公益財団法人がん研究会の活動を支援するため、当社本店に支援自動販売機を設置しています。

飲料を1本購入するごとに売上の一部が同研究会に寄付金として贈られる仕組みで、先進的ながん医療や新薬開発のための研究、がんの早期発見に向けた検診技術の向上などに役立てられます。また、従業員の社会貢献に対する意識向上の役割も担っています。



本店に設置した支援自動販売機とステッカー

現場事務所での献血協力

冬場から春先は全国的に献血者数が減少することに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり輸血用血液製剤の不足が懸念されることから、2021年2月、岩手県内の当社現場事務所での献血活動を実施しました。

当日は日本赤十字社岩手県赤十字献血センターから現場事務所へ献血車が派遣され、当社だけでなく協力会社の従業員や近隣住民の皆様にも献血にご協力いただきました。



「働くクルマ展」に出展

2020年10月、当社がレーシングコースなどの整備を行っている総合モータースポーツ施設「スポーツランドSUGO」(宮城県柴田郡村田町)で全日本スーパーフォーミュラ選手権と同時開催された「働くクルマ展」に、東北支店が参加し、整地作業に使用するモーターグレーダーを出展しました。

来場者の方々には、普段間近に見ることのできない建設機械に触れたり、実際に運転席に座っていただく経験を通して、その魅力や迫力を感じていただきました。

当社は今後もこうしたイベントへ積極的に参加し、建設工事の必要性や建設業界への理解浸透に努めます。



2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦の様子 (提供:株式会社菅生)



出展したモーターグレーダー



当社が施工した「スポーツランドSUGO」レーシングコース西ピット棟